



# 大阪活性化推進総研

2023年7月1日

## ニュース

第35号

### 第21期通常総会を開催。

#### 2023年度の事業計画が決まりました。

特定非営利活動法人・大阪活性化推進総研（NPO・ODI）の第21期通常総会が5月24日（水）15時から、大阪市立北区民センターで開催されました。正会員36名中出席8名、委任状提出20名で総会は成立。互選により佐藤徳治理事長が議長に選出され、以下の各議案について全員異議なく承認し、可決されました。

第1号議案 2022年度事業報告

第2号議案 2022年度収支決算、貸借対照表及び財産目録、監査報告

第3号議案 2023年度事業計画

第4号議案 2023年度事業収支予算



新型コロナ禍もようやく衰えを見せ、このまま推移すれば今年度は「土曜元気寄席」も復活できそうな状況です。ただし大規模集客事業の「医療講演と癒しのコンサート」は今年度も中止し、代わってさまざまな分野の興味あるテーマを少人数で探求する「シニア・セミナー」（仮称）を新設します。これに先立ち、皆様がどんなテーマに興味を持たれているかを調べるアンケート調査を実施しました（結果は下記参照）。

また、ODI設立当初から健康支援と共に活動の柱としてきた教育支援事業として、昨年度寄付による資金支援を行った「NPO ふらいおん」との連携をさらに深め、ODIとして何が出来るか模索していく予定です。

他団体との連携事業として、昨年来好評の「朝の光のクラシック」も継続。また春秋の「ウォーキングを楽しむ会」は昨年度に引き続き8回開催を予定しています。参加者の高齢化に伴い、歩行距離を短縮し、四季の自然や歴史、文化に触れるなど、魅力あるコースの選定に努めて参ります。その他「俳句を楽しむ会」「ゴルフを楽しむ会」「USJを楽しむ会」などの人気事業も継続して実施する予定です。

#### シニア・セミナー（仮称）についてのアンケートより

今年度から開催を予定している「シニア・セミナー」（仮称）について、皆様がどのようなテーマに興味を持たれているかを探ろうと、第3回、第4回の「春のウォーキング」参加者を対象にアンケート用紙を配布し、自由に記入していただきました。回答者総数27人。回答者の属性は男女比1：2、70代7人、80代10人、他は無記入でした。

分野別に複数回答ありで尋ねたところ、「健康」が最も多く19人、次いで「文化」18人、「医療」16人、「芸能」15人、「時事問題」11人、「政治」9人、「古典」、「落語」各7人など。具体的な内容としては「繁昌亭の落語」「文楽」「狂言」「オペラ」「名画の解説」、「現代若者文化」「座禅体験」「スポーツ」などが挙げられました。さらに詳しい内容や、講師などを理事会で検討し、決まればこのODIニュースやホームページ、メール、チラシ等で皆様にお知らせします。会場は交通の便の良い大阪市北区民センターなどを予定しています。どうかお楽しみに！

# 春のウォーキング全4回を実施！



## 第1回：4月11日（火）「石清水八幡宮と背割堤の桜を楽しむ」（約5km）、参加27人

コース：石清水八幡宮駅—石清水八幡宮参道ケーブル—本殿（昇殿見学）—エジソン記念碑—男山展望台—石清水社—頓宮殿—背割堤（昼食・散策）—石清水八幡宮駅

京都の西南にあって平安時代から国家鎮護の神様として崇められてきた石清水八幡宮。普段は外側からしか見られない国宝の社殿に1人千円の祈祷料を払って昇殿し、ご祈祷を受け、禰宜さんの案内で本殿や廻廊、極彩色の欄間彫刻、信長が寄進した黄金の雨樋などを見学して廻りました。説明が丁寧だったのはいいのですが、大幅に時間オーバー。駆け足でエジソン記念碑、展望台、石清水社などを見学しながら下山し、腹ペコで木津川、宇治川の合流点の“背割堤”に移動。遅い日の昼食を取った後は所々に咲き残っている桜を楽しみながら背割堤を散策しました。



## 第2回：4月18日（火）「緑豊かな寺町で、天王寺七坂を踏破する！」

～暮らしに祈りが息づく街 歩けば心がほっとする～（約5km）、参加34人

コース：谷町九丁目駅—生國魂神社—真言坂—北門坂—下寺町—浄国寺—源聖寺坂—心光寺—口縄坂—愛染坂—清水坂—清水寺—愛染堂—四天王寺前夕陽ヶ丘駅

豊臣期に生玉社が現在地へ遷座し、徳川期に市中の寺院を整理して「寺町」が造成されたため、いずれの坂も沿道に寺社が多く、坂の上は落陽の眺めが良いことから「夕陽丘」と呼ばれました。緑も豊富で、織田作之助など著名人の墓や碑のほか、大阪市内唯一の滝「玉出の滝」が存在するなど、観光スポットとなっています。当日は、数日来続いた雨も上がり、気温22℃で、まさにウォーキング日和。3班に分かれ、天王寺ボランティアガイドさんの案内で坂を上ったり下ったりしながら歩きました。知っているようで知らなかった大阪の新しい顔を発見された方も多いのではないのでしょうか。また、参加者から素敵な俳句の感想をいただきました。

- ・春光る真言坂の常夜灯（今川 耕造）
- ・つばくらめ上町台地ひとつ飛び（今川 耕造）
- ・くもり空 心はればれ ウォーキング（木下 貞子）

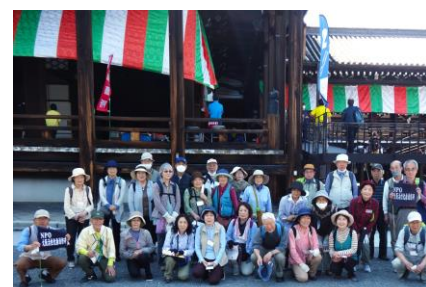


## 第3回：5月11日（木）「京の食“あじわい館”から梅小路公園、本願寺を巡る」（約5km）、参加29人

コース：JR丹波口駅—食文化ミュージアムあじわい館—島原花街（輪違屋、角屋など）—梅小路公園（昼食、散策）—西本願寺—東本願寺

快晴の下、丹波口駅を出発して、まず京都市中央市場に隣接する“あじわい館”に到着。もてなしの文化を紹介する映像や京もの名産品などを見学した後、江戸時代に発展した日本最古の花街の名残を留める京島原地区へ。入り口の大門を潜り置屋の輪違屋、揚屋の角屋などの格子造りの建屋を見ながら通り抜け、鉄道博物館や水族館で賑わう梅小路公園へとたどり着きました。

公園では、池泉回遊式の日本庭園“朱雀の庭”や、元は貨物駅だった“いのちの森”を散策。昼食後、国宝唐門を経て、親鸞聖人開祖の浄土真宗本願寺派の本山・西本願寺（龍谷山本願寺）へ。「お西さんのお坊さん」による境内案内ツアーに参加して国宝の阿弥陀堂をお参りした後、浄土真宗のもう一方の代表である真宗大谷派の本山・東本願寺にも廻り、各々自由に見学して解散としました。



**第4回：5月25日（木）「弥生時代の田能遺跡と猪名川河畔を歩く」（約6km）、参加28名**

コース：JR猪名寺駅—尼崎農業公園—田能遺跡資料館（昼食）—猪名川河畔—猪名川公園—阪急園田駅

JR猪名寺駅から、まずは藻川を越えて尼崎農業公園へ。季節のバラと菖蒲を鑑賞できました。猪名川を渡り、田能遺跡資料館へ。館内の出土品、復元された住居・高床倉庫等の説明を受けて見学し、遺跡公園内で昼食。昼食後は猪名川の堤防を1.5km下り、伊丹空港に着陸するジェット機を間近に眺め、先頭グループは園田競馬を堤防から眺められるというオマケ付きでした。堤防を離れ、猪名川公園で給水休憩、更に土塁状の遊歩緑道を歩き、商店街を抜けて阪急園田駅まで、全員無事に到着しました。筆者が学生時代に見た藻川や猪名川・神崎川はガスが湧き出るとかと思われるほど汚染されていましたが、今では水もきれいで、河川敷公園のように整備されています。

後日参加者のK氏より1936年頃と1990年頃の猪名川公園付近の航空写真をメール頂きました。それによると、我々が歩いた猪名川公園の池は旧猪名川、さらに緑道の高台は旧堤防であったことが一目瞭然。田能遺跡の発掘も猪名川の大改修工事の中で行われたことが納得できました。



《4月7日・第22回句会から》

戦場の 兵士にも吹く 若葉風	春雷や 君が生命の 慟哭か	大江死す 令和五年は ベースボール	風光り 舞うは蝶々か 花びらか	伯耆大山 春立つ空に 仁王立ち	仏前に 炊きたて菜飯 独居の友	散る桜 ナイスキャッチ のチューリップ	春光る 峰肌脱ぎて 萌え出る	ぼこぼこ 命噴き出す 春の土	見上げれば 生命を限り 名残り花	ふるさとは 廃村の山 春がすみ
喜代志	耕造	耕造	徳治	裕司	肇	喜代志	きよみ	喜代志	繁幸	捨盆

ODI 俳句の会

今回も10人が揃い踏み！

秀句が多く撰ぶのに苦勞する贅沢！

4月7日（金）第22回ODI俳句の会を大阪市・北区民センターで開催、参加者も前回と同じ顔ぶれの10人が揃いました。ほとんどが俳句は初めてという人の集まりから始まった当句会。今回も季語をめぐって「厳格に適用を考える人」「どうでもいいと考える人」「季重なりを超えて三つの季語を使う人」など様々。先生と呼ばれる人がいないので、一つの流派・作風に流されず、自由に創作でき、意見を言い合えるのがこの句会の一番の楽しさではないでしょうか。

☆第24回ODI俳句の会 10月6日（金）午後2時から

<会場>大阪市・北区民センター（JR大阪環状線天満駅または大阪メトロ堺筋線扇町駅より徒歩3分）で。

<用意するもの>

・短冊（幅3㍍、長さ15㍍くらいの紙なら何でも可）

1枚に1句ずつ、計3句を書いてご持参下さい。季節は自由です。

・ノート、筆記用具、参加費500円

お問い合わせは担当・松井（E-mail: matsuisig@icloud.com 携帯 090-5046-4075）まで。





## 第21回ODIゴルフを楽しむ会

6月1日(木)茨木国際ゴルフ倶楽部にて開催。  
 今年は例年になく梅雨入りが早まり、天候が心配でしたが、参加者の日ごろの精進の賜物か、素晴らしい天気にも恵まれました。参加は新規1名を加えて11名。快晴・微風の絶好のコンディションの中、全員無事完走し、楽しい1日を過ごすことができました。

参加者の氏名及び表彰の状況は別表の通り(敬称略)

	氏名	表彰	NP
第1組	植田省吾	1位	
	米埜悦治郎	7位	
	岡本由幸		○
第2組	佐藤徳治	BB	○
	西村義明		
	岸川義喜		
第3組	木村壽秀	5位	
	藤井健二		
	市村元一		
	草野賢治	2位	○
	平岡宣夫	3位	○

## 朝の光のクラシック

4月16日(日)に「松原みなみソプラノ・リサイタル」、5月6日(土)に「青山暖(あおやま のん)ヴァイオリン・リサイタル」と、将来有望な若手の登場が続いています。

すでに海外でも活躍していて、昨年の日本音楽コンクール・声楽部門第1位に輝く松原みなみさんは、地元大阪の夕陽丘高校出身ということもあり、主催者側からチケット枚数を制限された中、10人が参加し、春にちなんだ歌曲やオペラアリアの数々を聴きました。また、青山暖さんはやはり昨年の日本音楽コンクール・ヴァイオリン部門第2位。告知機会が少なかったせいもあり、参加は6人と少々さびしかったものの、弱冠18歳とは思えない巧みな演奏でバッハやモーツァルト、シューベルトなどの名曲を次々と披露してくれました。

### ◇7月16日(日)「渡辺紗蘭ヴァイオリン・リサイタル」

昨年の日本音楽コンクール・ヴァイオリン部門で青山暖さんと最後まで競り合い、見事第1位を獲得した渡辺紗蘭さん。兵庫県出身。東京音楽大学に特別特待奨学生として在学中の18歳です。

曲目はブラームス「ワルプルギスの夜 op75-4」、パガニーニ「24のカプリスより第1番、第24番」、R.シュトラウス「ヴァイオリンソナタ変ホ長調 op18」、ラヴェル「ツイガース」など。

大阪・梅田のフェニックスホールで午前10時30分から(開場10時)。  
 入場料は一般2,000円のところ ODI 特別価格 1,500円になります。  
 事前申し込みが必要です。ご希望の方は吉井まで。

E-mail : [kayo4311@jcom.zaq.ne.jp](mailto:kayo4311@jcom.zaq.ne.jp) または [Tel:090-5242-6283](tel:090-5242-6283) へ。



## 編集後記

総会が終わり、ODIの2023年度がスタートしました。コロナも落ち着き、新規事業などに向けて頑張っているのがお分かりいただけたと思います。猛暑に集中豪雨、夏を乗り切るのも大変ですが、どうか体調に気を付けて健やかな夏をお過ごし下さい(吉)

NPO 大阪活性化推進総研(ODI) <http://npo-odi.life.coocan.jp/>

〒530-00 大阪市北区中之島4-2-28、甲南アセット中之島ビル

TEL : 090-5251-8906 FAX : 06-6438-9070 E-mail : [ica14229@nifty.com](mailto:ica14229@nifty.com)

